

グループワーク作業シート 【A班】生まれる・育つ【出産、子育て】

現状と課題	<行政が行うべきこと>
<p>・未婚率が増加傾向 ・出生数が年間 200 人台まで減少 ・合計特殊出生率が近隣市町に比べ低い</p> <p>○保育所 現状:少子化により入所希望児童数は減少傾向にあるが、低年齢(3歳未満)の入所希望が増加している。 課題:保育士の確保が困難、施設の老朽化など</p> <p>○放課後児童クラブ 現状:平成27年度から対象を6年生までに拡大したこともあり、利用者が増加している。クラブ運営では、民間のノウハウを生かし体験型の活動を積極的に展開するなどの充実を図る。 課題:クラブの拡充(増設)を検討、県の行う支援員研修が遅れており育成が不十分、かつ人材確保が困難になっている。</p>	<市民・地域ができること>
<p>○児童福祉 現状:銚子市子ども・子育て支援事業計画に基づき子育て支援事業を推進。 子ども医療費助成(平成25年12月診療分から助成対象年齢を中学校3年生まで拡充) 課題:病児保育事業・子どもの居場所づくり(学習支援・児童館・子ども食堂など)。 対象年齢拡充・所得制限撤廃・保護者負担額などの検討</p>	<協働でできること>

グループワーク作業シート 【B班】学ぶ【学ぶ場、学び方、街の将来】

現状と課題	<行政が行うべきこと>
<p>○学校教育 現状：児童や生徒数の減少は著しく、その傾向は今後も続く。 課題：すくすくと育つ幼児教育を進める、「生きる力」を育む学校教育を進める、質の高い高等学校教育を進める。 (教育内容の充実、施設の整備、学校の再編など)</p>	<市民・地域ができること>
<p>○社会教育 現状：各公共施設の老朽化、市民のスポーツ離れ。ジオパーク活動に代表されるように市民主体によるまちづくり活動が進む。</p>	<協働でできること>
<p>○市民協働 現状：これまでのまちづくりは、行政主導による計画策定や事業実施が主体であったが、少子高齢化や社会情勢の変化等により、住民ニーズは多種多様化しており、行政に求められるサービスは飽和状態になりつつある。 課題：市民が対応できるものは市民が主体で実施し、行政でなければできないものは行政が実施する等、公私の役割分担の整理や見直しが求められる。</p>	

グループワーク作業シート 【C班】働く【働き方、地域での生活】

現状と課題	<行政が行うべきこと>
<p>・少子高齢化の急速な進行による生産年齢人口の減少</p> <p>・雇用の需要と供給のアンマッチ</p> <p>・就業形態の多様化</p> <p>○雇用環境の向上</p> <p>現状:技術革新や高度情報化、産業構造の変化や就業形態の多様化の進展、少子高齢社会の進展に伴う高齢化や女性の社会進出、ニート問題に代表される、勤労者自身の就業に対する意識の変化など</p> <p>課題:高齢者や障害者などの就業機会の確保、若者(特に若い女性)の就業機会の確保、新規学卒者の地元就職の促進や、UJターン希望者の受入れに対する支援など</p> <p>○空き店舗等</p> <p>現状:事業所の廃業による地域経済の衰退と買い物弱者問題、空き店舗の増加と中心市街地の空洞化が進む</p> <p>課題:企業誘致や新規創業により、中心市街地の空洞化に歯止めをかける</p>	<市民・地域ができること>
	<協働でできること>

グループワーク作業シート 【D班】老いる・死ぬ【老後、介護、最期の迎え方】

現状と課題	<行政が行うべきこと>
<p>○保健・医療</p> <p>現状:市民の平均寿命(H22 県内最下位)、健康寿命が短い</p> <ul style="list-style-type: none">医療提供体制が脆弱・夜間救急輪番体制が確立されていない在宅医療の提供体制の不足地域包括ケアシステムが確立されていない医師・看護師・医療スタッフの不足.各種がん検診の受診率の伸び悩み塩分摂取量が多い <p>課題:市民の平均寿命・健康寿命の延伸</p> <ul style="list-style-type: none">医療提供体制の確保・夜間救急体制の確立在宅医療の提供体制の充実地域包括ケアにおける保健・医療・介護の連携医師・看護師・医療スタッフの確保	<市民・地域ができること>
<p>○高齢者福祉</p> <p>現状:平成28年4月現在で高齢化率が33.8%で、国27.2%、県25.4%と比べて高く、2025年までに40%を超える見込み。</p> <p>課題:要介護認定者が増加し、介護給付費が増大するため、若い頃から介護予防を推進していく必要がある。</p> <p>一人暮らし高齢者や高齢者世帯、認知症高齢者が増加しているため、住み慣れた地域で暮らしつづけられるような支援体制が必要。</p> <p>ボランティアなどが少なく、市民互助の意識をさらに高めていく必要がある。</p> <p>老人クラブや同業講など高齢者が地域で集い、交流する場が少なくなっている。</p>	<協働でできること>

グループワーク作業シート 【E班】家庭・近隣【独り暮らし、近所の支え合い、地縁団体】

現状と課題	<行政が行うべきこと>
<p>○地域防災力の向上 現状:地域の防災力を高めるには、公が担う公助、住民が自らを守る自助の他、住民同士が助け合う共助の力が重要であるが自主防災組織の組織化が進んでいない。 課題:住民が自発的に自主防災組織の組織化を進める必要があるが、そのためには住民一人一人の防災意識の向上が必要であり、市が積極的に関わるための体制整備も不可欠である。</p>	
<p>○防犯体制の強化 現状:窃盗被害や電話等による詐欺被害が後を絶たない。 課題:被害に遭わないための防犯意識の普及徹底</p>	<市民・地域ができること>
<p>○空家対策を進める 現状:人口減少により空家は増加しており、特に管理が不十分な空家は、防災・衛生・環境・景観などにおいて周辺の住民へ悪影響を及ぼしている。 課題:空家の所有者等による適正な管理の徹底・安全な生活環境の維持・保全・地域資源としての利活用</p>	<協働でできること>

グループワーク作業シート 【F班】学区・生活圏域【地域拠点、地域活動、専門家活動】

現状と課題	<行政が行うべきこと>
<p>○高齢者福祉 現状:要介護認定者の増加。一人暮らし高齢者や認知症高齢者の増加。 介護・医療に要する経費の増高。 課題:高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるような地域包括ケアシステムの早期の構築。</p>	<市民・地域ができること>
<p>○児童福祉 現状:銚子市子ども・子育て支援事業計画に基づき子育て支援事業を推進 課題:子育て世代包括支援センターの開設、DV・ひとり親相談支援の充実、生活支援や就労支援などの相談窓口の充実。 子どもの居場所づくり(学習支援・児童館・子ども食堂など)</p>	<協働でできること>
<p>○障害者福祉 現状:障害者総合支援法に基づき自立支援給付・相談支援・地域生活支援事業を実施 課題:社会資源の不足(障害者支援施設や生活介護事業所が少なく、精神神経科入院施設が無い)</p> <p>○学校教育・生涯学習・スポーツ・文化 現状:児童や生徒数の減少が著しく、その傾向は今後も続く。 各施設の老朽化、職員数の不足、市民のスポーツ離れ。 課題:小中学校の再編を進める。 各施設の統合、複合化、市民組織の育成。</p>	

グループワーク作業シート 【G班】産業・自然 〈経済活動、環境活動〉

現状と課題	〈行政が行うべきこと〉
<p>○産業・経済</p> <p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化の急速な進行による生産年齢人口の減少 ・雇用の需要と供給のアンマッチ ・就業形態の多様化 ・後継者の不足 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営体減少による法人化等による経営規模の拡大の促進 ・新たな切り口の観光戦略 ・銚子に活気を取り戻すための人材育成 ・販路拡大、新たな加工品開発、異業種間の連携など <p>○大学と企業との連携</p> <p>現状:千葉科学大学は、地(知)の拠点大学として国に認定され、加えて千葉大学主導の地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)に参画している。</p> <p>課題:大学の知的資源を地元企業のニーズとマッチングさせ、地域の産業振興、雇用創出を図る。地域に学生が残るための取組を推進。</p>	<p>〈市民・地域ができること〉</p>
	<p>〈協働でできること〉</p>

グループワーク作業シート 【H班】 広域連携 〈近隣自治体、県・国との関係〉

現状と課題	＜行政が行うべきこと＞
<p>○広域事務 現状:ごみ処理施設、消防、道路整備など 課題:構成自治体間の負担割合の調整など</p> <p>○広域幹線道路網の整備 現状:国道においても一部幅員が狭い区間があり、渋滞が発生しやすい。 道路インフラの老朽化が進行している。 課題:銚子連絡道路、国道 356 号バイパスの早期整備。老朽化した施設の更新、整備には多額の費用が見込まれる。</p>	
<p>○公共交通 現状:公共交通利用者の減少、交通事業者の経営状況の悪化、公共交通維持に係る行政負担の増大。 課題:路線の廃止や廃線の可能性。高齢化の進行による交通弱者の増加 市内での交通手段は自家用車が80%を超えており、今後高齢のため運転できなくなる人が増加することが予想される。</p>	<p>＜市民・地域ができること＞</p>
<p>○国際交流 現状:市では外国人住民が1,900人を超え、外国人留学生や観光客も増加傾向にある。 課題:多文化共生社会の実現に向けた対応が求められている。 (インバウンドの推進、外国人ボランティア募集、ホストファミリー募集など)</p>	<p>＜協働でできること＞</p>